

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立高森台中学校（愛知県）【指定校】

【取組内容】 ①一人一人の議論の様子をクラウド上で把握して、次の単元の構成や指導、見取りに生かす

【学習のめあて】				
名前		★ 状況 ★ ※ 10分前には必ず出発	議論した人（1人目）	気づきの記録
1		説明します ▼		盗んだことより、クジャクヤママユを潰してしまったことにショック、罪悪感を感じている。
		説明します ▼		クジャクヤママユ欲しさの興奮が抑えられず盗みを犯した。エーミールが持ってなかったとしても、結局は興奮が抑えられなかった
		説明します ▼		ちょうを壊してしまったときの感情とエーミールと話しているときの感情の変化がある
		説明します ▼		エーミールが静かな対応を取ることで僕のメンタルを削っている

1 年国語 物語単元での学習の様子

クラウド上に様々な情報を残すことができるようになった。教員は議論を通して生徒がどのような気づきを得ているか確認する。その上で授業内で必要があれば、支援に回る。また、次の単元を構成する際にどのような資質・能力を育成するとよいのか考える際の参考にする。